

★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★5月のありがとう★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★

4月から小春学院も新学期をスタートさせることができました。ありがとうございます。新学期が始まって1ヶ月が経ちましたが、これから夏休みの勉強に向けて、勉強の基礎体力をつけられるようにスタッフ一同尽力してまいります。今月も宜しく願いいたします。

誤解されている「国語」(3)

こんにちは。今月も発刊が遅れてしまいました。連休前にはと思いましたが…。計画的な仕事スケジュールを立てられるようにしていきましょう。

今月も先月からの引き続きで国語についての誤解を考察していきます。

5.勉強することがない…いえいえ、地道にしておきたい作業はたくさんあります。

英語を勉強するときみなさんは何をしますか。定番な勉強を挙げてみましょう。単語を覚える。英文を覚える。英語を聞く。英語を読む。いろいろできます。こういう作業を地道に行うからこそ英語はある日突然伸びるのです(勉強を始めたからといって即効の効果はありません。ある日突然伸びるものです)。

では国語を勉強するときには何をしますか。とっさにでてこないのではないのでしょうか。「国語は日本語だからできる」「国語は普段使っている言葉だから勉強することがない」という思い込みから国語で何を勉強するのが出てこないのです。しかし、国語の古典の勉強であれば、英語と同じ作業が挙げられるでしょう。古文は今の言葉と違う、まるで外国語のような日本語ですから、同じ作業が挙げられるのではないのでしょうか。

では、国語、特に現代文も同じようにしてみてもいいのでしょうか。

- (1)言葉を覚える…本当に単語を正しく使われているのでしょうか。「こんな意味だろう」と思い込ん で文章理解の足を引っ張っていないのでしょうか。決まった言い回し(慣用句やことわざ、四字熟語)を場面に応じて思い浮かべることができるでしょうか。
- (2)文を覚える…英文は基本文があるから覚えなければいけません、国語はその必要がないと思いませんか。しかし、教養がある人ほど古典作品からの言い回し、小説の一説をきちんと覚えていて、会話を豊かにしてくれます。名文は覚えれば覚えるほど、言葉の感覚の幅を広げてくれます。自分の心に残った、脳天に強く衝撃を受けた文をぜひ覚えてみてはどうでしょうか。
- (3)文章を聞く…文章を耳にする場面はいくつもあります。人との会話での文章(話)を聞くというのがありますし、テレビ・ラジオからながれてくる文章(話)を聞くこともあります。書かれた文章は見て考える時間がありますが、音となって伝わってきた文章は一瞬にして消えます。その一瞬で内容を理解するには訓練が必要です。埼玉県ではまだですが、他県の公立高校では入試で国語の聞き取り問題があります。公立中高一貫校の適性検査でも聞き取り問題を出題する学校があります。試験の場だけではなく、仕事の場面でも人の話を聞いて、動かなければならないことがたくさんあります。普段の生活の中でしっかり人の話を聞いて、相手が何を伝えようとしているのかを考える訓練をしてみてください。
- (4)文章を読む…読書だけの話ではありません。私たちの身のまわりにはたくさんの文章があります。教科書、製品の説明書、チラシ、案内文、看板など文章の長短に関わらずたくさん文章と接する機会があります。読書が苦手、文章を読むのが苦手という場合には、身のまわりのものが読めることから始めてみませんか。案外、「なるほど」という気づきが文章の中にはあります。その「なるほど」に気づ

いたときが成長の第一歩となるでしょう。

英語と同様に、国語は一発逆転が狙えない教科です。地道なことを続けることが大切な教科です。大学入試だけではなく、高校入試、中学入試、そして大学院入試で求められている力とはこうした地道な作業を続けることができる力なのです。なぜなら、上級の学校へ進めば進むほどそういう地道な作業を求める勉強をするようになるからです。

6.読むことと書くことは別である…果たしてそうでしょうか。

読むこととは内容を頭に入れる作業、書くこととは内容を頭から出す作業と分けてしまっていないか。分けるまではよしとして、これを別のこととしていませんか。

物事は細分化すると分かり易くなるとはよく言われていますが、読むことと書くことという作業は国語を教える側が勝手に細分化してしまったものの例といえるかもしれません。作文の勉強、文章読み取りの勉強と区切って個々に教えるほうが内容をつかみ易いことは確かです。しかし、内容が頭に入って、頭から出るという経路を考えると結局同じ方向性を目指しているのではないのでしょうか。

記述問題の解答作成について考えてみましょう。内容は分かっているのだけど答えがなかなか書けないという児童・生徒がいます。作業を分けて考えてみれば、読むことはできて、書くことはできないだから書く練習をしていきましょうと話を移して、対処法を考えてしまうことでしょう。しかし、読むことが本当に分かっているのでしょうか。分かってもらいたいことは、文章の内容と設問の内容です。出題者は何を問い、文章のどの部分についての理解を深めてもらいたいのか。そこを本当に分かっているのでしょうか。書けないのであれば、読むことにもう一度チャレンジすることが必要です。地道な作業の積み重ねの上に記述の解答を作ってみてください。これは解答作成スキルやテクニックではありません（ただし、ある程度の作成上の約束事・ルールはあります）。そのスキルやテクニックばかりにできるようになることを求めていけばいくほど、解答は書けなくなってきます。といっても、参考書に書いているスキルやテクニックにはあくまでも「文章が読めている」という前提があります。ですから、読むという頭に入れる、理解する作業とそれを表現する作業をつなげて考えないといけません。

作文も同じことです。作文が書けない子供のほとんどは「作文に書く内容がない」のです。何を人に伝えるか。そこが重要なのです。書くスキルだけあっても内容のない文章は読み手に見透かされます。読むことも書くこともコミュニケーションをとるために必要な重要な要素なのです。それも相互補完の関係をもつ要素なのです。私たちが社会生活を営む上で必要なコミュニケーションにはこの関係を別とすることはできないのです。

今回もいろいろ書いてしまいましたが、国語についての誤解という話は来月がいよいよ最終回です。まとめもしっかりしてフィナーレにしていきたいと思います。（続く）

文責：めがね先生

★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★5月のおめでとう★☆☆☆★☆☆☆★☆☆☆★

小春学院には現在5月生まれの児童・生徒さんがいらっしませんでした。ただいま募集中！

★★5月の予定★★

①「こはるお食事会」・「大学めぐりツアー」を企画しています。

「こはるお食事会」については、告知から早1ヶ月が経ちました。計画が進展していません。すみません。6月開催を目標に準備を進めてまいりたいと思います。

「大学めぐりツアー」は児童・生徒の皆さんにはお伝えしていますが、東京都内の有名大学を早いうちに目にしておきましょうという学習動機付けの日帰りツアーです。本郷の東京大学、三田の慶應義塾大学、表参道の青山学院大学、池袋の立教大学…。まあ、いろいろありますが、パッとする大学のもつ雰囲気を（せめて正門だけでも）感じてもらえればと思っています。

②中学生学カテスト

今月は5教科受験となります。範囲は別紙にてご確認ください。今月の学カテスト受験最終日は5月20日（日）です。事前課題プリントの確認をしっかりと行ってテストに挑戦しましょう。

③小学生学カテスト

5月20日（日）に小学生対象学カテストを実施いたします。中学受験生は国・算・理・社の4教科、公立中学進学生は国・算の2教科を受験します。事前の学習教材もごさいますので、しっかりテスト勉強を進めていきましょう。詳しくは別紙『小学生4月号・5月号「学カテスト」のご案内』をご覧ください。

★★今月の「この一問！」★★

今月は算数問題です。チャレンジしてみてください。答えは教室で！

太郎くんのお兄さんは高校の食堂を利用して昼食をとっています。ある日、食券を購入するため食券売り場に行きました。

次の「条件」をもとにして、問1～問3に答えなさい。

【条件】

- ① 食券売り場では毎分20人の割合で並ぶ人が増えています。
- ② 100人が並んだとき、同時に2か所の窓口で食券の販売を開始しました。
- ③ 食券の販売開始から、10分で並んでいる人がいなくなりました。
- ④ 食券を買いに来る人数は毎分一定です。それぞれの窓口で販売する食券の舞う数も毎分一定です。

問1 1か所の窓口では、1分あたり何人の食券を販売できましたか。数字で答えなさい。

問2 食券販売開始から4分以内に並んでいる人がいなくなるようにするには、最低でも何か所の窓口を開ければよいですか。数字で答えなさい。

問3 窓口を4か所に増やしたところ、販売開始から5分後に並んでいる人がいなくなりました。販売を開始してから何分何秒後に窓口を増やしましたか。数字で答えなさい。

(とある公立中高一貫校の適性検査より)

★★大人のための「この一冊！」★★

今月は「アンケート」の都合上、お休みさせていただきます。来月から宜しく願いいたします。

別紙「保護者様へのアンケート【編集後記にかえて】」をぜひお読みください。

保護者様へのアンケート【編集後記にかえて】

今月は保護者の皆様へアンケートお願いいたします。

今年の小春学院のスローガンは「積極的な活動」です。そこで、ゲストを招いてのイベントを7、8月にかけて実施したいと考えています。そのイベントを実施するにあたって、この場を借りましてアンケートを実施し、イベント開催の参考資料にいたします。ご協力お願いいたします。

※第一回目のゲストには東京都内私立中高一貫校で教鞭をとられている現職の学校の先生をお呼びする予定です。

① 次のうち実施時間帯として望ましいものを1つお選びください。

1. 午前(9時～12時ごろ) 2. 午後(1時～4時ごろ) 3. 夕方(3時～6時ごろ)

② 内容はどのようなものがよろしいでしょうか。ご希望するものをお選びください。(複数回答可)

1. 受験に関するもの 2. 日常の子育て 3. 大学とはどんなところか
4. 学習全般について 5. 教科1つに特化した内容 6. 学校教育について
6. その他…以下にご記入ください。

()

③ どのような形式がよろしいでしょうか。

1. ゲストによる講演と質疑応答 2. 保護者様とゲストとの対話を中心とした座談会
3. 本学院講師とゲストとの対話を中心とした座談会

④ 何人規模のイベントがよろしいでしょうか。

1. 5人まで 2. 10人まで 3. 10人以上

⑤ 会場はどちらがよろしいでしょうか。

1. 小春学院 2. 緑町近辺の施設 3. 春日部市内であればどこでもいい

⑥ 懇親会を計画した場合にはご出席なさいますか？

1. するつもり 2. しません 3. その日の予定次第

⑦ 尋ねてみたい質問がございましたらお書きください。

6月2日(土)までにご提出ください。ご協力ありがとうございました。